

令和6年度 第3回川崎市社会教育委員会議 教育文化会館専門部会摘録

開催日時：令和6年12月10日(火)

13時30分～15時30分

開催場所：教育文化会館 第5会議室

出席者：＜委員＞山澤委員（部会長）、村社委員（副部会長）、権守委員、青木委員、野口委員、竹内委員、星委員

出席者：＜事務局＞小島館長、北村分館長、平井分館長、石田課長補佐、関口課長補佐

欠席者：＜委員＞猫橋委員

傍聴者：2名

1 開会

2 事務連絡

傍聴2名。過半数の出席があるため、本日の教育文化会館専門部会は成立。川崎市社会教育委員会議規則第6条第6項による。

3 委嘱状交付

4 館長あいさつ

5 部会長あいさつ

6 委員自己紹介

7 職員自己紹介

8 教育委員会事務局からのお知らせ 労働会館改修工事について

9 議事

- (1) 教育文化会館、大師分館、田島分館の社会教育振興事業について
関口課長補佐、北村分館長、平井分館長より各事業について説明。

・教育文化会館について

山澤部会長）資料に平和人権・男女平等推進学習で講師の選定が難しいとある

が何が難しいのか伺いたい。

関口係長) 色々な立場考えの方がいて、中には偏った考えの方もいる。立場が違えば見方も違う、多種多様な見方が出来るような講座を企画し講師の選定をする必要があるためである。

竹内委員) 「不登校を考える」について。不登校者数が増えて関心もあると思われるが、定員に満たない理由について伺いたい。何か原因があるのか。

関口係長) 土・日も忙しい人が多いのか毎回初めての参加者が殆どのため、参加人数が増えないのが原因と思われる。実施団体「プレーン」も毎回内容を工夫し、講演会だけではなく気軽に相談に来て欲しいと伝えているが、その回限りの参加が多い。グループに参加する様子も見られず、「プレーン」のメンバーも原因は分からないと言っている。

山澤部会長) アンケートを取っていると思うが。

関口係長) アンケートでは満足度は高いが、継続しての参加は見られない。「プレーン」もこども文化センターを借りて行っていたが、参加する人は少ないと聞いている。日々忙しいのか、参加者が増えない理由について分かりかねる状況である。

山澤部会長) 良い企画だが難しい点もあり、不登校とひとくくりに出来ない個別の状況もある。リピーターが良いとは限らないが1回参加したから悩みが解決するものではないので何か突破口があれば良いと感じる。

村社委員) 防災講座は平日開催だが良い内容なので1・2回は土・日を入れると参加者が増えると考える。

関口係長) 教育文化会館で実施する場合、土・日の開催でも参加者は伸びない傾向にある。今回は講師の都合もあり平日になった。参加者にとって曜日を統一した方が参加しやすいとの意見もあるが、次回計画を立てる時には土・日開催も入れるよう検討したい。今回の「不登校」の講座については、昨年より人数は少なかったが逆に一人一人の意見も聞くことが出来て良かった点もある。

星委員) 不登校にもそれぞれの状況があり、講演会等にもそれぞれ行かない理由があるが、多くの理由は子どもが行ってほしくないと思っていることがあるようである。自分を不登校と思っていない場合や、親も来週は行けるかもしれないと考えている。また講演会があっても子どもに知られずに行くととなると気軽に行ける感じではない。講演会に参加すれば親子とも楽になると思うが、全面的に「不登校」をテーマにすると参加しにくい部分もある。同じような環境の人と出会える場だと参加しやすいと思われる。環境が変われば変わる子どももいるので焦らないことも必要かもしれない。

山澤部会長) 誰もが持っている悩みの中の一つとして「不登校」を取り上げる場合は参加しやすいと考える。

・大師分館について

村社委員) 健康講座は宮川病院と協力して実施するのか。

北村分館長) 宮川病院の先生が座学の回の講師である。

・田島分館について

青木委員) 田島分館の近くに住んでいるが、各館で色々な事業を実施している事を知らなかった。チラシの枚数は増やせないのか。

平井分館長) 館内や各市民館に配布しているが地域まで配布するのは難しく、追分町の掲示板にはポスターを掲示させてもらっている。その他インターネットでの広報も行っている。タウン・ニュースに掲載できる事もある。

青木委員) 大島の町内会でも活動しているが追分町だけでなく回覧板や掲示板を活用しても良いと考える。

平井分館長) 市の方針として町内会に負担をかけないようにするためチラシの配布の追加は難しい。掲示板の利用については検討したい。

関口係長) 教育文化会館だよりではプラザ大師・プラザ田島の案内も掲載していて町内会にも回覧している。紙面が限られているので詳細までは掲載できないがご覧いただきたい。

村社委員) 各館様々な講座を実施しているが、障害のある方向けの講座、例えばボッチャを取り入れて障害のある方も参加できるものを行っても良いと考える。

(2) 「市民館の貸館における飲食」について

小島館長より説明

青木委員) 夏に教育文化会館を会場に子ども達が参加する講座を行った。夏でもあり暑さに配慮してペットボトルの飲み物を提供したが気を付けてもこぼしたりしてしまった。主催側がそのケアもするが、後片付けや食べこぼしが心配である。

権守委員) 文化協会の会議ではペットボトル飲料を提供している。ペットボトル30本を用意するのは大変だが熱中症対策のため準備している。食べ物は食べこぼし等もあり後で使う人に迷惑をかけると思い提供していない。

野口委員) 子ども会議で休憩時間に気分転換のため飲み物とお菓子を出しているが後片付けは注意をして行っている。お弁当等を出す場合は、匂いの強いものがないように後に使う方に配慮した方が良いと思う。

竹内委員) お茶菓子は良いと思うが、カップ麺はどうなのか等食べ物は何の程度まで認められるのかルールを決めて周知する事が大切だと思う。

星委員) 飲食を取ることが一般的になると、後片付けや換気等にも気を使わなくなると思われる。ルールづくりは細かくしっかり決めないといけないと考える。

山澤部会長) 飲食を可能とするならどのようなルールにして欲しいかという点でご意見をいただきたい。

村社委員) 飲み物の場合最低でも蓋つきの容器の飲み物で、食べ物はサンドイッチ程度の軽食で良いと考える。なんでも受け入れる事は賛成できない。

権守委員) 食べ物を持ち込んだ場合は自分たちで持ち帰るようにした方が良く考える。館に迷惑をかけないようお互い気持ちよく使えるようにしたい。

山澤部会長) 部屋を利用する場合入った時と同じ状態にして帰るものだと考える。チェックリストを作成し終了後に責任者が記入し館に提出し確認してもらうのはどうか。飲食については個人的に賛成だが委員の皆さんの意見に沿いたいと考える。ルールも勿論だがマナーの問題で、最後にきれいにして帰るのも学習の一環なのでそのような意識づけも重要だと思う。子ども達にもマナーを学んでもらう機会になる。

竹内委員) 飲食について試験運用を行い、問題点を洗い出して運用方法を考えるのも一つの方法と考える。

星委員) デリバリーのピザやハンバーガーの持ち込みも出てくると考えるが、飲食の可否を細かく分けるのは難しい。匂いが残らないようなルールで換気は必要だと考える

山澤部会長) 同意見である。チェックリストには換気も入ってくると考える。

竹内委員) いろいろな方が利用すると思うので馴染みのないスパイスの香り等香り残りやすい場合も考えられる。やはり換気は重要である。

山澤部会長) 今回で「市民館の貸館における飲食」の協議は終了となる。委員の意見については、今後市民館において検討する際には是非参考にさせていただきたい。それでは次に来年の協議テーマの案があれば伺いたい。

竹内委員) 素晴らしい講座が多いが、知らない人が多い。各館の講座を知って貰う方法について協議してはどうか。

山澤部会長) 広報は長年の課題であるが必要な事である。

村社委員) 大きすぎるテーマかもしれないが、市民館のあり方についてはどうか。

山澤部会長) 大きなテーマだが話し合いをする中で絞られてくれるかもしれない。それも良い提案である。

野口委員) 移転の延長に伴い現在使われていない部分を活用してはどうか。

権守委員) 皆さんの意見を参考に考えをまとめたい。

星委員) 広報と申込のやりやすさや参加人数を増やす方法等について考えてみてはどうか。

青木委員) 住んでいる地区に外国から来た人達が増えている。仲良くなったネパールの人と一緒に空き缶収集ボランティアやネパール料理の会などで交流している。色々な国の人たちが来日している中でその方達に発信できる事、例え

ばごみの捨て方等教育文化会館から発信できることがあればと考える。

山澤部会長) 大きく分けて3件の案が出た。「広報を充実させ周知し参加者を増やす方法について」「市民館のあり方について」「外国人市民が増えている中、共に活動できるような発信」である。来年度第1回目は今回出た提案だけでなく、その他の提案があれば併せて情報共有して進めたい。

小島館長)「貸館における飲食」については一旦ご意見をいただき、来年度のテーマについては複数案あるため整理したい。テーマを2つ持てるかもしれないので次の第4回目で確定出来ればと考える。

(3) 令和7年度教育文化会館・大師分館・田島分館市民自主学級・市民自主企画事業
選考会について

関口課長補佐から説明

竹内委員) 件数の制限はあるのか。

関口係長) 全体の予算枠が決まっているのでその範囲内で実施は可能である。

小島館長) 市民自ら提案していただくことは貴重なことだと考える。提案団体は提案会までに担当職員と打ち合わせを重ね参加している。発想や提案に応援をしていただける目線で選考会に臨んでいただければと考えている。

山澤部会長) 選考委員に囲まれるとどうしても緊張する。提案団体の中には「市民自主」との名称が付いているため自分達の考えですべてできると誤解する団体が多いが、公益的な事業なので職員と話し合い、アドバイスを受けながらより良いものを作り上げる事業である。その点も採点のポイントとしてみていただきたい。

関口係長) 選考会を非公開で実施することについて、選考委員の皆様から了承をいただきたいが、可否について伺いたい。

全員非公開での実施に了承

青木委員) 田島地区の中に大島が入っていないが抜けているのか。

関口係長) 記載のない地区は中央地区のため教育文化会館の管轄になる。

(4) その他

第4回 令和7年2月16日(日) 13時から 会場:3階 第5会議室

※第4回は、市民自主学級・市民自主企画事業の選考会を兼ねている。